

## イントロダクション

### 企業理念

# MATERIALS INNOVATION

マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献します。

### プロフィール

JSR株式会社は、1957年(昭和32年)12月に合成ゴムの国産化を目指して制定された「合成ゴム製造事業特別措置法」の施行により日本合成ゴム株式会社として設立されました。1969年(昭和44年)に民間会社へ移行し、合成ゴムからエマルジョンや合成樹脂へと石油化学系事業を展開するとともに、当社固有の高分子技術を活用して半導体材料・ディスプレイ材料・光学材料等へ業容を拡大し、情報電子材料を核としたファイン事業を推進してまいりました。事業内容の変革に伴い、創立40周年(1997年12月10日)を機に社名を「JSR株式会社」に変更いたしました。

足元では、第3の柱としたライフサイエンス事業はM&Aなどにより規模を拡大しており、合成樹脂事業も他社との事業統合が実現しました。また、従来のファイン事業はデジタルソリューション事業に変更して新たな展開を図るなど、各事業とも着実に課題を達成して収益の拡大につなげ、持続的成長を推進してまいります。

## 時代に即した事業変革

JSRグループは、マテリアルを通じて新しい価値を創造し、社会問題の解決に貢献することを目指しています。

### 時代の変遷と社会課題

1960  
年代

#### 合成ゴムの国産化

石油化学製品は、日本の戦後復興期において、産業には欠かせない原料資材としての役割を担っていました。しかし、日本は輸入品に依存してきたことで逼迫した需給環境に瀕していたため、合成ゴムの国産化が急務となりました。

1980  
年代

#### 産業構造の変化

電子材料は、コンピュータ産業の新興や、マイクロチップが埋め込まれた電子機器およびデジタル通信機器といった製品の登場において、不可欠な存在でした。

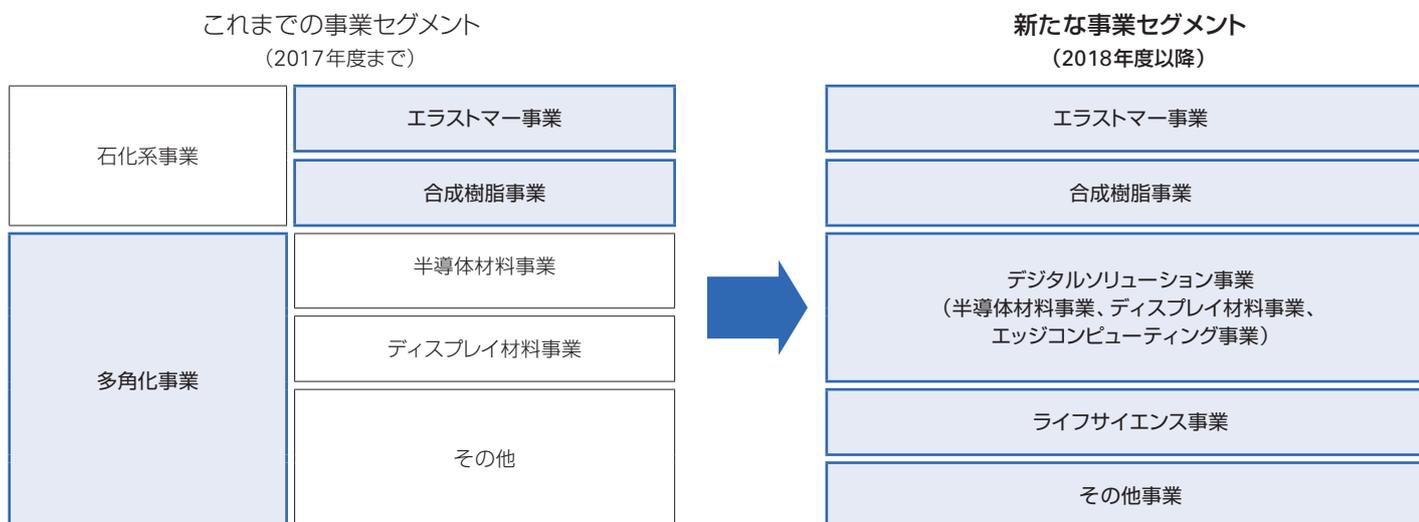
2000  
年代

#### 将来に向けた社会的優先課題

環境問題への意識の高まりを背景に、より環境に配慮した生活を実現する必要性が叫ばれています。世界より一足先に超高齢社会に向かう日本において、社会が優先すべきもう一つの課題は医療サービスの発展です。

### 新セグメント区分

2018年度より開示セグメントを変更しました。



## 業績ハイライト

2017年度は対前年度で大幅な増収増益を達成し、通期ガイダンスも上回りました。

売上収益  
**4,219** 億円  
前年度 **3,885** 億円  
↑ **+8.6%**

売上収益は、原料価格上昇に伴う販売価格の改定によるエラストマー事業の販売増、および半導体材料事業の好調な市場環境での先端材料の採用拡大が進んだことにより、前年を大幅に上回りました。

資本合計  
**4,116** 億円  
前年度 **3,764** 億円  
↑ **+9.4%**

資本合計は、利益剰余金の増加224億円などにより、全体としても前年より増加しました。自己資本比率は60.8%となりました。

営業利益  
**436** 億円  
前年度 **359** 億円  
↑ **+21.2%**

営業利益は、エラストマー事業での原料価格上昇に伴う販売価格の改定、および低燃費タイヤ用溶液重合SBR (SSBR)のタイ子会社での販売が拡大したことに加え、合成樹脂事業で拡販に努めた結果、前年を上回りました。

ROE  
**8.8** %  
前年度 **8.5** %  
↑ **+0.3%**

ROEは当期利益の増加などにより、前年を上回りました。

